【FdData 中間期末：中学歴史】

[豊臣秀吉②：太閤検地と刀狩]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[太閤検地]

[問題](要点把握)

次の下線部A～Hで誤っているものを2つ選び，正しい語句に直せ。

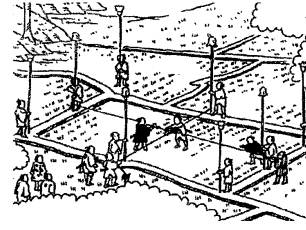
豊臣秀吉は，地域でばらばらだったA ものさしやますを統一した(ますは京ますに統一)。そして，田畑の面積や土地のよしあしを調べ，予想される収穫量を，米の体積であるB石高で表した。秀吉が実施した，C年貢を確実に取るために全国規模で行った検地をD 豊臣検地という。

この検地では，検地帳に登録された百姓に，E 耕作権が保障され，F 年貢を納めることが義務付けられた。武士は，B 高に応じた G 軍役を果たした。D 検地によって武家以外の領主などがそれまで持っていた田畑に関する権利が否定され，H 荘園は減少した。

[解答]D 太閤検地，H 荘園は消滅した
※出題頻度：「年貢を確実に取るため△」「太閤検地◎」「石高〇→年貢・軍役△」「検地帳に登録された農民に耕作権→荘園が消滅△」

[問題](後期中間)

豊臣秀吉は，全国の田畑の広さや土地のよしあしを調べさせ，予想される米の生産高を米の体積であらわした。これについて，次の各問いに答えよ。



(1) この政策を何というか，漢字4字で答えよ。

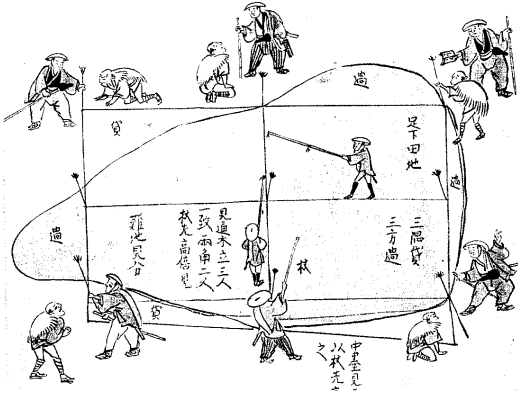
(2) 下線部の米の体積のことを何というか。

(3) (1)の政策の目的は何を確実に徴収するためか。

[解答](1) 太閤検地　(2) 石高　(3) 年貢

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。



(1) 豊臣秀吉は，図のような方法で全国にわたって検地を行った。これを何検地というか。

(2) (1)の検地によって，収穫高は何で表されるようになったか。

(3) (1)の検地を行った目的を，「年貢」という語句を使って簡潔に説明せよ。

(4) 検地帳に書かれている内容として適切でないものを次のア～エから選び，記号で答えよ。

ア 土地の値段

イ 土地の等級

ウ 土地の面積

エ 耕作者の名前

(5) (1)によって，土地の所有権は誰に認められたか，次のア～ウの中から 1 つ選べ。

ア 公家や寺社などの荘園領主

イ 耕作をしていない有力農民

ウ その土地を耕作している農民

(6) 武士は(2)に応じて年貢を取る権利をもつかわりに，これに応じた何を果たすことが義務付けられたか，次の[　　]から 1 つ選べ。

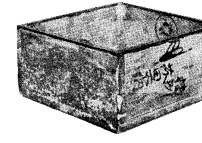
[奉公　軍役　測量　防人]

(7) (1)の検地の結果，公家や寺社などがそれまで持っていた田畑に関する権利がすべて否定されて，何が完全に消滅したか。漢字2字で答えよ。

[解答](1) 太閤検地　(2) 石高　(3) 年貢を確実に取るため。　(4) ア　(5) ウ　(6) 軍役　(7) 荘園

[問題](3 学期)

次の文章中の①～⑦に適語を入れよ(または，適語を選べ)。



秀吉は，ものさしやますを統一した。ますについては，右図の京都で使われていた(　①　)に統一した。全国の田畑の広さや土地のよしあしを調べ，予想される収穫量をすべて米の②(体積／重さ)である③(両／kg／石高)で表した。秀吉は，領地に役人を派遣して，広さ・土地のよしあし・収穫高・その土地の耕作者を調べさせ，村ごとにそれらを記しておく(　④　)を作らせた。秀吉が全国にわたって行ったこの検地を特に(　⑤　)という。

武士の領地は(③)で示され，年貢を取る権利をもつかわりに，これに応じた(　⑥　)を果たすことが義務付けられた。(⑤)により，武家以外の領主などがそれまで持っていた田畑に関する権利が否定され，(　⑦　)は完全に消滅した。

[解答]① 京ます　② 体積　③ 石高
④ 検地帳　⑤ 太閤検地　⑥ 軍役
⑦ 荘園

[刀狩]

[問題](2 学期期末)

次の文中の①，②に適語を入れよ。

豊臣秀吉は，一揆を防ぐために(　①　)を行って農民や寺社から刀やわきざし，弓，やり，鉄砲などの武器を取り上げた。太閤検地や(①)などの政策によって，武士と農民との身分の区別が明確になった。これを(　②　)分離という。

[解答]① 刀狩　② 兵農

※出題頻度：「一揆を防ぐため◎」「刀狩◎」「兵農分離◎：武士と農民との身分の区別が明確になった○」

[問題](2 学期期末)

刀狩について，次のア～エのうち，誤っているものを１つ選べ。

ア　百姓や寺社から刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取り上げた。

イ　この政策は，農民の一揆を防止し，耕作に専念させるという目的で行われた。

ウ　百姓たちは，大名の城下町へ集住するようになった。

エ　武士と農民との身分の区別が明確になり，兵農分離が進んだ。

[解答]ウ

[問題](1 学期期末)

次は，豊臣秀吉がすべての農民や寺社から武器をとりあげた政策である。後の各問いに答えよ。

「百姓が刀やわきざし，弓，やり，鉄砲，その他の武具を所持することを禁止する。不必要な武具をたくわえ，年貢その他の税をなかなか納入せず，ついには一揆をくわだてたりして，領主に対してよからぬ行為をする者は，もちろん処罰する。」

(1) この政策を何というか。

(2) この政策の目的を 10 字以内で説明せよ。

(3) 次の文中の①，②に適語を入れよ。

豊臣秀吉は，(1)の政策や太閤検地などによって，武士と農民の(　①　)をはっきりさせた。これを(　②　)と呼ぶ。

[解答](1) 刀狩　(2) 一揆を防ぐため。
(3)① 身分の区別　② 兵農分離

[問題](1 学期中間)

次の資料を読んで，各問いに答えよ。

「諸国の百姓が(　①　)やわきざし，弓，やり，鉄砲，そのほかの武具などを持つことは，かたく禁止する。不必要な武具をたくわえ，年貢その他の税をなかなか納入せず，ついには(　②　)をくわだてたりして，領主に対してよからぬ行為をする者は，もちろん処罰する。」

(1) 資料中の①，②にあてはまる語句を答えよ。

(2) 資料は何と呼ばれる政策か。

(3) 資料の命令を出した人物は誰か。

(4) この命令を出した目的を書け。

(5) (3)の人物は，(2)の政策や太閤検地などによって，武士と農民の身分の区別をはっきりさせた。これを何と呼ぶか。

[解答](1)① 刀　② 一揆　(2) 刀狩
(3) 豊臣秀吉　(4) 一揆を防ぐため。
(5) 兵農分離

[問題](2 学期中間)
　豊臣秀吉が行った「兵農分離」とは，どのような政策か。「太閤検地」「刀狩」「身分の区別」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答]太閤検地や刀狩などによって，武士と農民の身分の区別をはっきりさせた政策。

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[世界 1]　[世界 2]　[日本 1]　[日本 2]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

理科 1 年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科 2 年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科 3 年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
この PDF ファイルは, FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で, 印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は, 実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため, 出題傾向の 90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。
（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960

メール： info2@fdtext.com